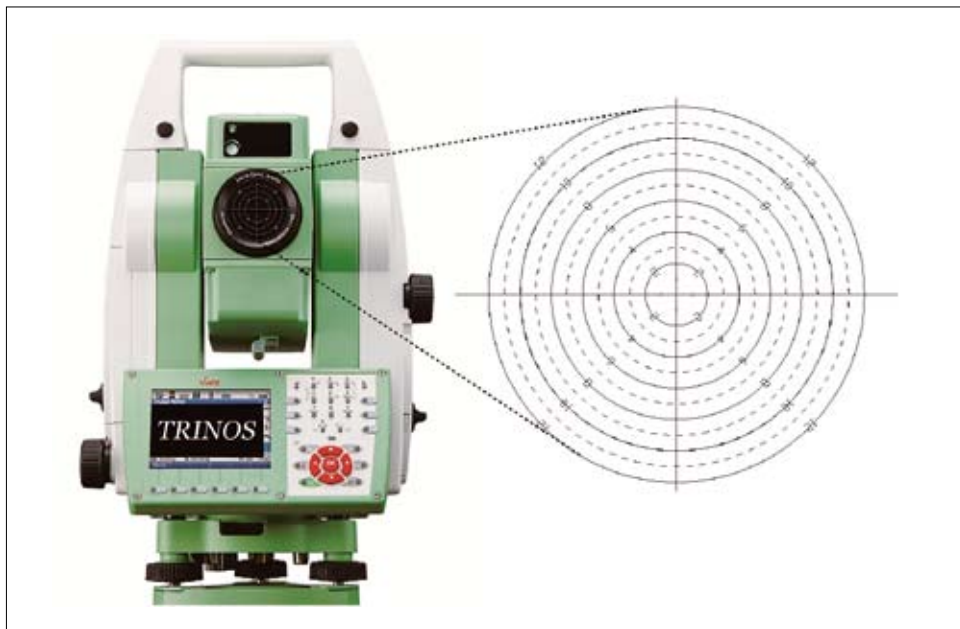


遠くからでも正確に測る 測量技術を他分野に応用

オンリー
ワン技術



焦点鏡にバーム（同心円）を組み込んだ「TRINOS」

業務内容

新発想の外壁診断システム
が革命を起す

関西工事測量は、測量技術を活かした画期的製品・システムを数多く発表してきたオンリーワン企業。平成23年9月には、遠隔ひび割れ計測システム「KUMONOS」に「赤外線サーモデルタ」を組み合わせた外壁診断システムの事業化が、経産省と国土交通省の両省から新連携の認定を受けた。これは、打診調査に頼っていた従来の外壁劣化診断を、具体的な数値として収集できる斬新なシステムだ。建物の高層階でも足場を組まずに遠距離から調査できるため、安全性向上やコスト削減にも効果を発揮する。

強み ダムのひびをも測れる 新商品を開発

「KUMONOS」の誕生経緯からは、同社の強みをうかがい知ることができる。ある時、同社にダムのコンクリートのひび割れを測定してほしいという依頼が舞い込んできた。従来なら、クラックスケールという透明なカードを直接ひびに当てて幅を計測していたが、ダムのような巨大な構造物だと足場を組むことも困難になる。悩



「KUMONOS」

開発商品 円柱の中心を測れる 「TRINOS」

みに悩んだ結果、測量機の焦点鏡に目盛りを打つことを思いついたんです」と中庭社長。複数の太さの目盛りの中から、ひび割れの幅と合うものを探す。あとは壁との距離がわかれば、自ずと幅が算出される仕組みだ。測量業界の常識を変えた画期的なこの発見は、顧客からの難題をとことん考えつくすことで生み出されたのだった。

今年7月、同社は次なる新技術を搭載した光波測距儀「TRINOS」を発表した。焦点鏡に「バーム」と呼ばれる同心円を組み込むことで、これまで不可能だった円柱形構造物の中心を正確に測定できるのだ。これにより、例えば電柱の傾きやたわみを知ることができ、維持管理が容易になる。また、レーザーでの測距が難しかった建物の先端部等を、この同心円を使って測定することもできる。

「その他にも未完のアイデアは数多くあります」と中庭社長は自信をのぞかせる。

ネット ワーク メーカーとの強い絆が 開発環境を後押し

数々のヒット商品を通じて、大手測量機器メーカーや装置レンタル会社等とも強固なネットワークを築いてきた同社。近年では、営業・販売を大手機器メーカーに一任し、開発のみに集中する環境が整い始めている。測量という手法を次はどんな新しい分野に結びつけるのか。今後も、新商品の開発力に磨きがかかるに違いない。

COMPANY PROFILE

関西工事測量株式会社

大阪
23

当社の 歴史

会社を設立した平成7年は、阪神大震災が起こった年です。その頃から「世間のニーズを掴み、社会に貢献できるオンリーワン技術」と志して新商品開発に注力してきました。その努力が結実し、東日本大震災の被災地においては、人が近づけない場所で弊社の測量技術が活かされています。世間に役立つものづくりを、今後も続けたいですね。

どんな要望でも、お客様の期待には必ず
応えたい。この姿勢が発想の源泉です。

代表取締役 中庭 和秀さん



■主な事業内容

測量・設計・施工管理・調査・システム開発等

■主な取引先（納入先）

大手ゼネコン、測量機器メーカー、都道府県土木事務所、各地方自治体等

住 所 / 〒562-0035

箕面市船場東
2-1-15

T E L / 072-749-1188

F A X / 072-749-1818

創 業 / 平成7年3月

設 立 / 平成7年3月

資本金 / 3,000万円

従業員 / 43名

<http://www.kankou.co.jp/>